



世界遺産・二条城の建造物と障壁画

主催 / 京都商工会議所 協力 / 元離宮二条城事務所

徳川家康によって創建された二条城は、その目的を京及び御所の守護や、将軍上洛の際の宿舎としていましたが、三代将軍・家光により、姿が大きく変わりました。その理由は、後水尾天皇を二条城に迎える行幸のための改修が行われたからで、現在の内堀以西の本丸郭や天守台は家光によるものです。では家康時代の姿はどうだったかということ、実は史料がほとんどなく、二之丸御殿内の狩野探幽一門による金碧障壁画も家光時代のものです。

今回は、特別企画として二条城の関係者をお招きし、これまでの調査で明らかになったことを紹介し、今後予定されている本格修理において解明すべき課題について解説いただきます。

◆ 講演内容 ◆

1. 二条城の歴史と建築史的な特徴

《講師》後藤 玉樹 氏 元離宮二条城事務所担当課長

2. 京の城・二条城の障壁画 —その意味と美—

《講師》中谷 至宏 氏 元離宮二条城事務所担当係長 / 学芸員



二条城二之丸御殿

◆ 日 時 ◆ 平成23年4月9日 (土)
13:30 ~ 15:30

◆ 会 場 ◆ 京都商工会議所 講堂

◆ 受講料 ◆ 無 料 (事前申込制)

◆ 定 員 ◆ 200名
(定員になり次第締め切ります)

後藤 玉樹 氏 プロフィール

1958年島根県生まれ。国立米子工業高等専門学校卒業後、(公財)文化財建造物保存技術協会に入社。国宝・重要文化財建造物の設計監理に従事する。伊丹・岡田家住宅、大阪貝塚・願泉寺等を担当。2009年1月より二条城に勤務。

中谷 至宏 氏 プロフィール

1960年奈良生まれ。関西学院大学大学院美学専攻を修了後、1987年より京都市美術館に勤務。2010年4月より現職。近代京都の博物館施設史、展覧会史を基盤として、近代日本の美術に関する制度史を再考している。

【受講申込みについて】

- ① 下記申込書に必要事項をご記入の上、3月31日(木)までに FAX、郵送、メールにてお申し込みください。電話での受付は行いませんので、ご了承ください。(定員になり次第締め切りますので、お早めにお申し込みください)
- ② 参加いただける方には、開催1週間前を目途に「受講証」を発送いたしますので、当日必ずご持参ください。「受講証」発送まで特にこちらから連絡いたしません。定員オーバーのために受講いただけない方にはその旨をご連絡いたします。

【問い合わせ・申込み先】 京都商工会議所 会員部 京都検定講習会係

〒604-0862 京都市中京区烏丸通り夷川上ル (地下鉄烏丸線「丸太町」駅 6番出口すぐ)

TEL 075-212-6416 FAX 075-222-2612 e-mail : school@kyo.or.jp

4月9日開催 世界遺産・二条城の建造物と障壁画 受講申込書

[氏名]	ふりがな	[ご住所]	〒	—
	漢 字			
TEL		FAX		
—		—		
[緊急連絡先] (臨時休講・会場変更など緊急の場合、昼間にご連絡致します)				
TEL		—		
※左記電話は、 <input type="checkbox"/> 自宅 (携帯電話など) / <input type="checkbox"/> 勤務先 です				